

1 パイロット校による授業公開

- (1) 令和3年10月15日(金) 中野市立高社中学校
保健体育保健分野「生活習慣病の予防(がんの予防)」(中学校2年生 学級単位)
外部講師: 中野市役所 健康づくり課 保健師及び管理栄養士
◎ICTの活用し、がんを引き起こす要因やその予防について理解し、がんのリスクを下げるために自分たちのできることをグループで考えた。
- (2) 令和4年2月2日(水) 長野県野沢南高等学校
保健体育科目保健「がんの治療と回復」(高等学校1年生 学級単位)
外部講師: 佐久総合医療センター腫瘍内科医師
◎新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、公開を中止し、授業の様子をオンデマンドにより配信。文科省の補助教材等の活用によりがんについて理解し、検診の大切さや病気の回復に向けたケアのあり方について、外部講師と検討したケースをもとに生徒がディスカッションした。

平成28年度から「モデル校」から「パイロット校」に改称。健康教育の一環として、日常的で分かりやすい授業、打ち合わせや事前事後アンケートにより安心して学び、自己の成長を感じられるような授業、外部講師を活用することでより深く学ぶことができる授業を目指している。

2 がん教育充実のための外部講師派遣事業

- 11月 第4回がん相談実務者会議で内容説明
- 12月 医療機関、がん経験者へ協力依頼
- 1月 外部講師リストの確認、更新(随時)
- 2月 募集開始
- 3月 派遣校決定

★R4年度より 外部講師派遣開始

外部講師リスト更新(令和4年3月現在)

- 個人登録 21名
- ※医療従事者 16名 がん経験者 5名
- 団体登録 12団体

令和元年より、病院、医療従事者、がん経験者に分け、県ホームページに掲載し、謝金や旅費、日程等を打ち合わせる方法をとっている。学校と外部講師で直接やり取りをすることに課題があるため、外部講師派遣事業により謝金や旅費、日程等について支援していく。

3 がん教育ミニ研修会の開催

- (1) 10月1日(金)
 - (2) 10月28日(木)
 - (3) 11月4日(木)
 - (4) 11月25日(木)
- ※新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、オンライン開催に変更
<のべ参加人数>
教員 275名 外部講師他 19名 計 294名

平成26年度から「がん教育研修会」を長野県総合教育センターで開催。教職員はもとよりあらゆる学校関係者を対象にモデル校の実践発表、大学教授等の有識者を講師に招き、具体的な内容に迫る講義・演習と、外部講師とともに作る授業についての講義を行っている。令和3年度からは県下4地域で開催されているミニ研修会にがん教育の内容を入れ、年4回開催している。

4 教材の活用

- (1) 協議会や聖心女子大学の植田誠治教授のアドバイスを受けつつ平成26年度に「がん教育の手引き」を、令和2年度には、その別冊」を作成し、県内公立学校に配布するとともに、県教育委員会ホームページに掲載。
- (2) 文部科学省作成の「外部講師を用いたがん教育ガイドライン」(平成28年3月)「がん教育推進のための教材」(平成28年4月)、スライド教材(平成29年6月)の一部改訂版について令和3年3月に県内公立学校に周知。

5 衛生主管部局との連携(長野県健康福祉部 保健・疾病対策課)

※研修会・シンポジウム等の案内、がん対策推進協議会等

6 その他

- (1) 令和3年度におけるがん教育実態調査(令和4年2月 文部科学省)
- (2) 教育指導時報「特集 いのちの学習 ～がん教育～」についてがん教育外部講師へ執筆依頼
※教職員向けに県教育委員会(学びの改革支援課)が刊行
- (3) 他団体へのイベント、セミナーへの参加
※リレー・フォー・ライフジャパン2021信州松本、がん教育を知るセミナー等